神樹の会会報

No. 25
平成 3 年 12 月 16 日

発行所：神 樹 の 会
発行人：水 野 整 一

（事業所）
本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
六甲作業所、東部デイサービス、東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町６丁目４－４ ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台４丁目4番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町２丁目２－12 ☎733-2477

福祉バザー 人の和と助け合いで 療護施設の建設へ たしかな歩みを

第二十回

多数の方々の絶大なるご支援・ご協力を賜わり会員一同心を合わせて開催準備にとりくんできた第20回神樹の会バザーが、去る十月三十日、三十一日の両日、さんちかホールで盛大に開かれ多大の成果をおさめることができた。今回は本会創立二十周年目を記念し、入場者にポケットティッシュを手渡した。

平成三年度 重点目標

1．会員相互の輪を強める

2．身体障害児(者)の進路保障
＊デイサービス事業の拡充確保
＊療護施設の早期実現

3．バザー活動の発展と充実

《第20回バザー収支決算》

収入の部		支出の部	
第1日目 売上	4,891,897	会場設営費	341,500
第2日目 売上	3,242,578	通信費	134,362
会場募金	19,116	事務費	20,691
寄付金	1,406,710	文書印刷費	117,500
		手芸材料費	51,433
		値札及梱包費	61,644
		交通費	152,864
		雑費	410,567
計	9,560,301	計	1,290,561

差引収益 8,269,740円

いろいろあってもがんばりました

◆バザー後の役員会（三十六名出席）が十一月十一日に心身障害児者福祉センターで開かれた。収支決算報告並びにバザー反省がなされ、今後のバザー活動について話し合われた。

◆会場について…二日間にわたり販売する品々を一度に搬入するため、保管の場所の確保がむつかしく、又、バザー当日の混雑ぶりからも、さんちかホールだけでなく2階の部分も借りられないかという意見があった。

◆売場に配置される人数について…子どもを迎えに、ほとんどの両校のお母さん方が二時過ぎに帰校するため、交替の時が特に手薄になり、それ以降はOBのお母さんが主に販売していたのバザー活動について話し合われた。

◆会場について…二日間にわたり販売する品々を一度に搬入するため、保管の場所の確保がむつかしく、又、バザー当日の混雑ぶりからも、さんちかホールだけでなく2階の部分も借りられないかという意見があった。

◆売場に配置される人数について…子どもを迎えに、ほとんどの両校のお母さん方が二時過ぎに帰校するため、交替の時が特に手薄になり、それ以降はOBのお母さんが主に販売していったのバザー活動について話し合われた。

◆売場に配置される人数について…子どもを迎えに、ほとんどの両校のお母さん方が二時過ぎに帰校するため、交替の時が特に手薄になり、それ以降はOBのお母さんが主に販売していったのバザー活動について話し合われた。

◆電気製品の取扱いについて…各所の値つけの段階で、よく点検することがとり決められているが、今年も不良品があり、お客様にご迷惑をかけた。もっと徹底的に点検するよう注意すると共に、搬入時の取り扱いをていねいにしようということが話し合われた。

理事長感謝状受賞

去る九月十日神戸文化ホールに於いて開催された平成三年度神戸市社会福祉大会において、次の方々が神樹の会からの推薦により、奉仕活動・金品の寄付の各部門で神戸市社会福祉協議会理事長感謝状を受けられました。（敬称略）

宮之園 里 子（奉仕活動）
出 口 恵美子（奉仕活動）
武 縄 喜代一（奉仕活動）
森 川 妙 子（奉仕活動）
半 鄒 信 子（奉仕活動）
子 勝 美 昊 城（金品寄付）
金 子 勝 美（金品寄付）

思いやりの心に接して

神樹の会会長 水野 整一

第二十回神樹の会福祉バザーが無事今年も終了しました。開場と同時に多くの来場者の皆さまがいっぱいに会場を埋めご協力を賜わり、過去最高の成果をあげることができました。「ありがとうございます」牧野先生とご一緒に二十周年記念のティッシュを皆さまに差し上げました。

「頑張ってください」「そちらこそご苦労さまです」とていねいにあいさつを返して頂く市民の方々。思いやりの心に接して一層心のふれあいの大切さを感じました。

子どもたちにも人の話を聞き心を開き合い笑いかけることによって人間関係ができていくのではないかと。

たくさんの人に囲まれてそのもっている力を可能なかぎりしらせたり、いろいろな体験にチャレンジできる場が、いますべての障害をもった人たちにあるとは必ずしも言えません。

私たちは障害の程度に関係なくやがて親を離れ一人で生きていく子どもたちに対して、そのもっている力を発揮させたり、人びとが心を通じ合わせる機会をつくってゆくことが必要であります。

障害をもった人たちが活き活きとその青春を過ごせる場を物的にも人的にもより充実していきたいものです。

「話し合おうとする優しさ」と「理解しようとする辛抱強さ」この二つの言葉をかみしめて生きていけば、すばらしい福祉の街ができるでしょう。バザーの大盛況のご協力・ご支援いただいた皆さまに感謝しつつ……。

今思うこと

吉岡 博子

このゆびと～まれ…

我が娘、礼子は、ただいま八歳。小学部三年生です。

体力がないので風邪をひかせたら治るのに日数がかかりますが、それでも以前に比べたらだいぶ丈夫になってきました。病気の時や一カ月一回の定期通院以外は、学校に通って養護・訓練をうけています。

毎朝「サァ、学校に行くよ」と声をかけて玄関で靴をはかせるのですが、うれしそうな顔をしてニコニコしています。外の景色や学校での生活が心に浮かぶのでしょうか。毎日、たくさんの方々の援助をうけて、楽しく元気に通学しています。

それでも高校を卒業するまでは良いのですが、それ以後の事を考えると不安になります。まだまだ施設の方は充分ではありません。専門的職員のいる充実した施設がほしいと思います。親の校内介助がなくなり、その分少しだけ余裕ができた時間を、卒業後の施設の充実にむけて何かをしなければと思うのですが、さしあたり何をすれば良いのかわかりません。

我が子の笑顔は最高です。この笑顔を絶やさないためにも、私は頑張ろう、負けてはいられない、と思うのです。

（友生養護学校 小学部三年 母親）

新しい出会いをあなたに

“若者の集い”ご案内

平成元年一月に初めて行われた“若者の集い”も今年で三回目。

誰か気持ちのわかりあえるボーイフレンドを、又ガールフレンドをと思っているあなた。気軽にこの集いに参加されませんか？

素敵な恋が生まれるかも……。
お待ちしてまーす。

神樹の会創立20周年記念式典
ならびに
新年会のご案内

皆様もご存知のように神樹の会も創立二十周年を迎えました。
これを祝っての記念式典ならびに恒例の新年会を左記の通り行いますのでご案内申し上げます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

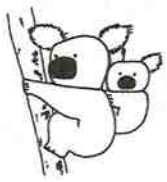
日時　平成4年1月26日（日）
　　午後1時～4時30分頃
場所　ポートピアホテル〈和楽の間〉
　　☎078-302-1111

牧野名誉会長受賞
平成三年度 全国社会福祉大会にて

社会福祉事業法制定・社会福祉協議会創設四十周年記念の平成三年度全国社会福祉大会が、去る十一月八日、日比谷公会堂に於いて行われました。
この大会で牧野神樹の会名誉会長が、民間社会福祉団体関係功労者として表彰を受けられました。この賞は、長年にわたり福祉の向上、発展に多大の貢献をされた個人に対して贈られるもので、この部門では神戸市からはただ一人という大変名誉な賞であります。
会員一同、心からお祝い申し上げると共に今後のますますのご活躍をお祈りいたしております。

きずなを深めあった秋
ご厚情心機一転

たっぷり初体験



十月二、三日と淡路へ一泊旅行に行きました。ボランティアの福島さんが、いっしょに行ってくれました。
かっこう良くて面白い人でした。ファームパークでは、コアラなどの動物や、バナナがなっているのを見ました。ウサギには、こわごわ触りました。旅館ではビールを飲んだりカラオケをしました。
お母さんたちの踊りは、オソロシかったです。その他、うず潮を見たり、普段、体験できないようなことばかりで、とても楽しかったです。〈東部デイサービス〉
（参加者の感想を集めてまとめました。）

夢がかなった！

慰安旅行についてみんなが何年もの夢だった東京ディズニーランド行きを実現しました。出発の日に台風が近づき、心配しながら新幹線に乗り込みました。遅れながらも東京に着き雨の中を都内見物。
翌日はいいお天気になり、ディズニーランドへ。乗物も一杯乗り買物もめいっぱい楽しんできました。この旅行は台風と共に行ったみたいで思い出深い旅になりました。
〈六甲作業所〉

瀬戸はひぐれて……

十一月二十二、二十三日の両日鳴門大橋を渡り、四国徳島の大歩危峡へ……。
鳴門大橋からのうず潮の眺めも圧巻であったが、観潮船にのり鳴門大橋の下をくぐってのうず潮見物は、まさに自然の不思議、偉大さを身をもって実感した。
また、与島より眺めた瀬戸大橋の偉容に感動し、瀬戸の島々に思いをはせ、誰からともなく「瀬戸の花嫁」を口ずさみながら帰途についた。
楽しい思い出の旅であった。〈星陵園〉

栗・や～い

十月九日野外活動で能勢に行きました。栗拾いをする予定でしたが、台風の為栗がなく農業組合の方の山の赤松の下で昼食をとりました。しいたけや栗を炭火で焼きおばさんの心のこもった栗ご飯やすまし汁をおなかいっぱいいただきました。午後から、いも掘りやしいたけ狩りをして秋の自然に触れ、都会ではできない体験をし楽しい一日を過ごすことができました。
〈東部生活訓練部〉

話がはずんで

今年の垂水竹業所の一泊旅行は、南紀の白浜温泉・アドベンチャーワールドへの楽しいバス旅行でした。夜はビデオケで時の経つのを忘れ、翌日のアドベンチャーワールドでは、オルカなどの素晴らしいマリンショーを見学しました。
この旅行で親同志、所員同志それぞれの親睦をより一層深めることができ、作業所では味わえない雰囲気で、みんな大満足でした。
〈垂水作業所〉

リフレッシュで・き・た

今年の旅行は白浜温泉とアドベンチャーワールド。旅先では温泉情緒一杯の岩風呂で心も身体もリフレッシュし、ホテルでの心づくしの料理に舌づつみを打ち、くりひろげられた夜のショーを楽しみました。次の日は可愛いアシカやダイナミックなオルカのショーに感激し、あいにくの台風の影響で予定を早めたものの、楽しい思い出をお土産に帰路につきました。
〈ワークホーム明友〉

つながりが密に

明友デイサービスは九月五日浜坂温泉へ一泊旅行に行きました。片道四時間のバス旅行なので、心配でしたが全員元気で楽しい旅行が出来ました。楽しい語らい、見はらしのよい温泉、夜のカラオケと、夜の更けるのも忘れて楽しみました。
帰路には九十八度の温泉で卵をゆで、夢千代の像の前で記念写真を撮り、生野の播磨屋で有名なせんべいを求めて楽しい思い出と共に帰ってきました。
お手伝い下さったボランティアの学生さんありがとう。〈明友デイサービス〉

▼ 友生養護学校ＰＴＡ
家庭教育学級でワイン城へ

▼ 垂水養護学校ＰＴＡ
家庭教育学級で三田屋へ

親交をあたためて

秋も深まった十月二十五、二十六日にしあわせの村のひよどり保養所で宿泊訓練キャンプを行いました。単独での参加者五名と親子での参加者五名それに指導者やボランティアで総数約二十名の私達は、まず日本庭園で昼食。あと、温水プールに入るものと散策組とにわかれ活動。
四時すぎにはワークホーム明友のとなりの地域交流ホームで合流してティータイム。友生、垂水両校の先生方に参加いただき、つついた水炊きの味は最高でした。宿泊は保養センターひよどりで。
園生たちお互いが認識しあえた貴重なひとときでした。
〈明芳デイサービス〉

あとがき

今年も残すところあとわずかになりました。皆様もお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。会報二十五号をお届けします。
今回は各事業所より秋の旅行についてご報告をいただきました。写真・ご執筆を感謝いたします。
（林・沢田・山内・宮崎・武縄・西原）